

(様式2B) 個別箇所評価総括表【継続】(要領第5の2(1)関係)

分野		補完的な道路の整備		事業番号、事業名		43 街路		補助・単独別		補助		建設部 都市計画課	
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針		
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況					
1	なかだわかつきせん 高田若機線 まりはら よしだ 桐原～吉田 (長野市)	道路築造工 延長L=872m 幅員W=13.0(25.0)m (工期:H19～H28)	用地補償 1式	用地補償 1式	道路築造工 延長L=872m	評価時 (当初) H19	57%	計画どおり進んでいる。 用地補償を促進中である。	市内の慢性的な渋滞を解消するために、通過交通の市街地流入を抑制し渋滞を解消することで都市内環境を改善する必要があり、(国)19号から(国)406号の区間が平成19年度に供用開始し、当該区間の必要性が高まっていることから事業を継続したい。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」		
						必要性 A	特記事項 特になし。						
						重要性 A		B/C(費用対効果)=1.9					
						効率性 A							
	90億円	10億円	12億6502万円	38億2653万7千円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。							
2	さなだせん 真田線 まつしろ 松代 (長野市)	道路築造工 延長L=505m 幅員W=6.0(16.0)m (工期:H22～H27)		測量設計 1式	道路築造工 延長L=505m	評価時 (当初) H22	0%	地元調整に時間を要しており、やや遅れている。 用地測量、物件調査に着手する予定。	当区間は、近年交通事故が多発している路線である。また、中心市街地には歴史的な遺産が数多く存在しているため、当路線を環状化することによりそれらの保存を図り、通過車両の安全と円滑な交通確保を確立させるため、事業を継続したい。	重要性が認められる。	「継続」		
						必要性 B	特記事項 特になし。						
						重要性 A		B/C(費用対効果)=2.1					
						効率性 B							
	8億5000万円	0円	1000万円	8億5000万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。							
3	ないかんじょうなんせん 内環状南線 かまた 鎌田 (松本市)	道路拡幅工 延長L=403m 幅員W=13.0(31.0)m (工期:H15～H24)	道路拡幅工 延長L=146m	道路拡幅工 延長L=100m	道路拡幅工 延長L=100m	評価時 (当初) H15	97%	計画どおり進んでいる。 道路拡幅工を施工中である。 H24完了予定	当区間の整備により国道19号と松本市街地への連絡が強化され、駅周辺部の渋滞が解消され都市内環境が改善されるため、事業を継続し平成24年度完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」		
						必要性 A	特記事項 中条工区の整備とあわせ、一体的に整備を進め早期に駅周辺部の渋滞解消を図る必要がある。						
						重要性 A		B/C(費用対効果)=4.0					
						効率性 A							
	32億4671万4千円	9694万9千円	9000万円	9000万円	緊急性 B	住民参加状況等 自ら代替地を選定・取得するなど、事業に積極的な協力がある。							

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	43 街路				補助・単独別	補助	建設部 都市計画課		
番号	箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
4	ないかんじょうなんせん 内環状南線 なかじょう 中条 〔松本市〕	道路拡幅工 延長L=546m 幅員W=13.0(31.0)m 〔工期：H11～H27〕	橋梁工 こ線橋工	橋梁工 こ線橋工	道路拡幅工 延長L=546m	評価時 (変更) H20	71%	計画どおり進んでいる。 橋梁工を施工中である。	当区間の整備により 国道19号と松本市街 地への連絡が強化さ れ、駅周辺部の渋滞 が解消され都市内環 境が改善されるため、 事業を継続したい。	重要性が高く、必要 性も認められる。	「継続」
		39億5600万円	7405万1千円	4億5570万2千円	11億5047万1千円	必要性 A	特記事項 先線の鎌田交差点の暫定形状による供用開始(H20.7)により、 食い違い交差が解消され事業効果が発現しつつある。 H20再評価「継続」				
						重要性 A	B/C(費用対効果)=1.7				
						効率性 A					
5	いでがわふたばせん 出川双葉線 いでがわふたば 出川～双葉 〔松本市〕	道路拡幅工 踏切立体交差化 延長L=348m 幅員W=6.0(16.0)m 〔工期：H19～H25〕	用地補償 1式	用地補償 1式	用地補償 1式 道路拡幅工 延長L=348m	評価時 (当初) H19	23%	JR交差部の設計に時間を要したため、や や遅れている。 用地補償を促進する。	立体交差化により、 踏切遮断による渋滞 解消を図るとともに、交 通弱者の安全な通行 空間を確保するため に、事業を継続した い。	重要性が認められ る。	「継続」
		40億円	1億2900万円	5000万円	30億6178万円	必要性 B	特記事項 踏切遮断による渋滞が著しいため、早期に事業を完了し渋滞 解消を図る必要がある。				
						重要性 A	B/C(費用対効果)=2.4				
						効率性 A					
6	きたてんじん ちよう 北天神町 ふるよしまちせん 吉吉町線 みよしちよう 三好町 〔上田市〕	道路拡幅工 延長L=625m 幅員W=6.5(16.0)m 〔工期：H20～H26〕	用地補償 1式	道路拡幅工 延長L=200m	道路拡幅工 延長L=425m	評価時 (当初) H20	43%	計画どおり進んでいる。 用地補償を促進中である。	周辺の民間開発の動 向からも都市の骨格 軸を形成する道路とし て必要性が高まって いるほか、沿線には 小中学校、保育園が あり、危険な状態と なっており、安全な道 路を整備する必要が あるため、事業を継続 したい。	重要性が高く、必要 性、緊急性も認めら れる。	「継続」
		32億円	4億6215万2千円	3億円	18億2124万円	必要性 A	特記事項 上田市中心部のJT跡地には、公共施設、商業施設の建設され たことから、郊外からのアクセス道路として整備が必要である。				
						重要性 A	B/C(費用対効果)=1.8				
						効率性 B					
					緊急性 A	住民参加状況等 特になし。					

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	43 街路				補助・単独別	補助	建設部 都市計画課		
番号	箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
7	なかときたしんまち 中常田新町 せん 線 ときだ 常田 〔上田市〕	道路拡幅工 延長L=515m 幅員W=6.0(16.0)m 〔工期：H21～H25〕	用地補償 1式	道路拡幅工 延長L=160m	道路拡幅工 延長L=515m	評価時 (変更) H23	40%	計画どおり進んでいる。 用地補償を促進中である。 道路拡幅工に着手する。	上田市中心部と環 状道路(国道18号)と を結ぶ道路であり、環 状道路の整備、中心 市街地の整備に伴 い、当該区間の整備 の重要性が高まって おり事業を継続した い。	重要性が認められ る。	「継続」
		12億円		2億1000万円	1億6000万円	7億1538万6千円	必要性 B	特記事項 H23変更：事業費3億円増 関係者との協議が整ったため、無電柱化工事を増工する。			
							重要性 A	B/C(費用対効果)=3.5			
							効率性 A				
						緊急性 B	住民参加状況等 特になし。				
8	しもやまみょうまんなばら 下山妙琴原 線 かみやま 上山 〔飯田市〕	道路拡幅工 延長L=395m 幅員W=6.0(16.0)m 〔工期：H18～H24〕	道路拡幅工 延長L=105m	道路拡幅工 延長L=66m	道路拡幅工 延長L=66m	評価時 (変更) H23	96%	道路拡幅工を施工中である。 H24完了予定	未整備区間の解消 であり、地域住民の受 け入れ態勢も良好な ため、事業を継続し平 成24年度完了を図り たい。	平成24年度での完 了を図る。	「継続」
		6億8100万円	2億1100万円	3000万円	3000万円	必要性 B	特記事項 H23変更：延長51m増、事業費3億4500万円増 未着手区間について、他事業との施工区分の調整が完了し施 工延長を増工し全線完了を図る。				
						重要性 A	B/C(費用対効果)=1.5				
						効率性 A					
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				
9	はばのおおせぎ 羽場大瀬木 せん 線 はば きりいし 羽場～切石 〔飯田市〕	道路築造工 延長L=643m 幅員W=13.0(22.0)m 橋梁 1基 〔工期：H14～H25〕	橋梁上部工 延長L=331m	橋梁上部工 延長L=331m	道路築造工 延長L=513m 橋梁上部工 延長L=331m	評価時 (当初) H14	94%	計画どおり進んでいる。 橋梁部を施工中である。	環状道路網の整備 により都市機能の強 化が図られることか ら、事業を継続した い。	重要性が高く、必要 性、緊急性も認めら れる。	「継続」
		57億円	9億3000万円	9億145万円	3億4345万円	必要性 A	特記事項 特になし。				
						重要性 A	B/C(費用対効果)=3.3				
						効率性 A					
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	43 街路				補助・単独別	補助	建設部 都市計画課				
番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針		
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況					
10	りゅうとうせん 竜東線 さかい 境 (伊那市)	道路拡幅工 延長L=545m 幅員W=6.0(16.0)m (工期:H21~H25)	用地補償 1式	用地補償 1式 道路拡幅工 延長L=238m	道路拡幅工 延長L=545m	評価時 (当初) H21	34%	計画どおり進んでいる。 用地補償を促進中である。 道路拡幅工に着手する。	伊那市中心部の天 竜川左岸を南北に結 ぶ幹線道路であり、沿 道の市街地活性化の 促進と円滑で安全な 交通確保を目的として 整備を進める必要が あるため、事業を継続 したい。	重要性、緊急性が認 められる。	「継続」		
						必要性 B						特記事項 特になし。	
						重要性 A							B/C(費用対効果)=2.4
						効率性 B							
						緊急性 A							
11	ちゅうおうばしせん 中央橋線 さなまち 肴町 (飯山市)	道路拡幅工 延長L=175m 幅員W=6.0(15.0)m (工期:H20~H24)	道路拡幅工 延長L=155m	道路拡幅工 延長L=175m	道路拡幅工 延長L=175m	評価時 (当初) H20	94%	計画どおり進んでいる。 道路拡幅工を施工中である。 H24完了予定	当該区間は通学路 にもかかわらず歩道 が整備されておらず、 また、狭隘な踏切もあ るため、事業を継続し 平成24年度完了を図 りたい。	平成24年度での完 了を図る。	「継続」		
						必要性 A						特記事項 特になし。	
						重要性 A							B/C(費用対効果)=1.7
						効率性 B							
						緊急性 B							
12	はしばちゅうおうせん 橋場中央線 とみあかふみきり 富岡踏切 (佐久市)	道路拡幅工 延長L=165m 幅員W=6.0(16.0)m (工期:H20~H24)	用地補償 1式	道路拡幅工 延長L=50m	道路拡幅工 延長L=50m	評価時 (当初) H20	92%	計画どおり進んでいる。 道路拡幅工を施工中である。 H24完了予定	危険な踏切の早期 解消に努め、安全で 円滑な交通を確保す る必要があるため、事 業を継続し平成24年 度完了を図りたい。	平成24年度での完 了を図る。	「継続」		
						必要性 B						特記事項 特になし。	
						重要性 A							B/C(費用対効果)=1.4
						効率性 A							
						緊急性 B							

分野		補完的な道路の整備		事業番号、事業名		43 街路		補助・単独別		補助		建設部 都市計画課	
番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針		
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況					
13	<small>きゅうこくどうせん</small> 旧国道線 <small>じんじやまゑ</small> 神社前 (千曲市)	道路拡幅工 延長L=241m 幅員W=6.0(18.0)m (工期:H20~H24)	道路拡幅工 延長L=80m	道路拡幅工 延長L=241m	道路拡幅工 延長L=241m	評価時 (当初) H20	91%	計画より進んでいる。 道路拡幅工を施工中である。 H24完了予定	自動車交通の増加に伴い交通事故の発生も多く通勤通学者が多いので、歩行者等の安全確保を図るため、事業を継続し平成24年度完了を図りたい。	平成24年度での完了を図る。	「継続」		
						必要性 A	特記事項 当初計画ではH25完了予定であったが、計画を前倒ししH24完了とする。 B/C(費用対効果)=1.2						
						重要性 A							
						効率性 A							
	11億7580万3千円	2億3502万2千円	1億1000万円	1億1000万円		緊急性 B	住民参加状況等 特になし。						
合計	13箇所	353億8977万7千円	39億1317万4千円	37億8217万2千円	128億6866万4千円			A: 配点の75%以上 B: 50%以上75%未満 C: 50%未満					